

マレーシアに来て16週目、日本では大晦日や正月だというのにこちらでは期末試験の真っ最中である。流石に一月一日は休日となっているものの単なる祝日と変わりなく、二日や三日は平日扱いされている。そのためか日本ではクリスマスが終わると即座に街中の飾りは片づけられ正月祝いの準備が進められるのが普通だが、こちらでは未だにクリスマスソングが流れ続けている。正月が何事もない普通の日として扱われているというのは、なんとも不思議な心地であり、日本に居た時に留学生として日本を訪れていたマレーシアの学生がクリスマスに試験なんてありえないと驚愕していたのはこんな気持ちだったのかと文化の違いをまた一つ実感することができた。

彼らが正月を祝わない理由は日本とマレーシア人の暦の違いにある。正月とは1月1日、つまり元旦を指すものではなく暦の初日を指す言葉である。日本では第二次世界大戦後から西暦が暦として普及し、現在まで使用されている為に一月一日を新年の始まりと定め正月を祝っている。しかしマレーシアは多民族国家であり、各宗教によって新年とする日が日本と異なっている。例えばマレーシアの中国系の人々は旧正月を重視しており、彼らにとっての正月は今年の二月八日に当たる。実際ハウスメイト達は今日が日本の正月であると知らなかった。

一月一日が彼らにとっての正月では無いとは言え、全く何もしない訳ではないらしい。彼らはお菓子や食べ物を持って近隣住民や友人宅を訪れ、飲み食いしながら祝日を祝う。感

覚としてはそれこそ我々にとってのクリスマスのようなものかもしれない。小倉



余談だが、本日なんと滞在しているホステルで家主の飼い犬が子供を産んだ。こちらでも犬はペットとして人気だが、犬を飼う理由は番犬としての側面が大きい。今日は日本における正月で、とても縁起が良いと説明すると喜んでくれた。

追記：昨年を振り返ってみると、私の人生で一番変化の大きな年であった。初めて海外に出て、異文化の中で生活するというのはそれだけで刺激的であり、毎日が発見に溢れていた。留学を決断したことは自分にとって意味のある出来事で、とても多くのことを考える機会を得ることが出来た。マレーシア滞在も残すところ後2か月弱。講義が終わり、空いた時間を活用してより積極的に活動していきたいと思う。